

平成 15 年 5 月期 第 3 四半期の連結業績等の概況

会 社 名 株式会社クリード
 (コード番号 8888)
 本社所在地 東京都港区赤坂 2 丁目 3 番 4 号
 問 合 せ 先 責任者役職名 取締役副社長
 氏 名 松木 光平
 TEL (03) 5575 - 2010

1. 業績

(1) 平成 15 年 5 月期 第 3 四半期 (平成 14 年 6 月 1 日 ~ 平成 15 年 2 月 28 日) の業績

	平成 15 年 5 月期 第 3 四半期累計 (当四半期)	対前年同期 増減率	平成 14 年 5 月期 第 3 四半期累計 (前年同四半期)	参考 前期 (通期)
	百万円	%	百万円	百万円
売 上 高	5,549	54.9	3,583	4,691
売上総利益	1,878	23.5	1,520	1,933
営 業 利 益	921	30.5	706	828
経 常 利 益	780	23.5	632	713

(注) 当四半期に係る数値について、公認会計士または監査法人の監査を受けておりません。

(2) 部門別の売上高内訳

	平成 15 年 5 月期 第 3 四半期累計 (当四半期)		対前年同期 増減率	平成 14 年 5 月期 第 3 四半期累計 (前年同四半期)		参考 前期 (通期)	
	金 額	構成比		金 額	構成比	金 額	構成比
	百万円	%	%	百万円	%	百万円	%
プ リ ン シ パ ル イ ン ベ ス ト メ ン ト 事 業	3,087	55.6	79.3	1,722	48.1	2,601	55.4
フ ァ ン ド 事 業	1,897	34.2	39.7	1,358	37.9	1,505	32.1
デ ュ ー デ リ ジ ェ ン ス 事 業	357	6.5	11.4	321	9.0	361	7.7
ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業	206	3.7	14.1	181	5.0	223	4.8
売上高合計	5,549	100.0	54.9	3,583	100.0	4,691	100.0

(注) 1. 当四半期に係る数値について、公認会計士または監査法人の監査を受けておりません。

2. 従来まで、投資事業、不動産ソリューション事業、デューデリジェンス事業、アセットマネジメント事業としておりましたが、当連結会計年度より、プリンシパルインベストメント事業、ファンド事業、デューデリジェンス事業、ソリューション事業と事業区分の変更を行っております。

参考：四半期毎の業績推移

	平成 15 年 5 月期 第 1 四半期	平成 15 年 5 月期 第 2 四半期	平成 15 年 5 月期 第 3 四半期
	百万円	百万円	百万円
プリンシパルインベストメント事業	872	1,767	447
ファンド事業	205	232	1,460
デューデリジェンス事業	139	91	126
ソリューション事業	107	73	25
売上高合計	1,324	2,165	2,059
売上総利益	599	699	579
営業利益	283	399	238
経常利益	245	354	181

(3) 主な資産・負債の変動について

項目	平成 15 年 5 月期 第 3 四半期末	増減額	前期末
(資産)	百万円	百万円	百万円
現金及び預金	2,014	1,350	3,365
たな卸資産	9,798	3,849	5,949
投資有価証券	522	391	130
匿名組合出資金	3,414	998	2,415
(負債)			
短期借入金	4,395	2,139	2,255
長期借入金	4,626	1,692	2,934
預り保証金	1,150	595	555

(注) 1. 当四半期に係る数値について、公認会計士または監査法人の監査を受けておりません。

2. 項目毎の変動幅が総資産の 2% を超えるものについて記載しております。

2. 当企業集団の業績の概況

当第 3 四半期（平成 14 年 6 月 1 日～平成 15 年 2 月 28 日）におけるわが国経済は、景気の先行き不透明感が強い中で、設備投資や個人消費に依然として回復の動きが見られず、国際政治情勢への懸念を背景に株価も低調に推移しており、引き続き厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループの事業領域では金融機関の不良債権処理の進展や、固定資産の減損会計の導入を背景とした企業の不動産売却及びオフバランス化のニーズは高まっており、引き続き活発で動きの多いマーケット環境となりました。

当社グループではこうした状況を当社ビジネスへの好機と捉えて、デューデリジェンス事業、ソリューション事業とのシナジー効果の発揮により、プリンシパルインベストメント、ファンドビジネスに注力し、収益力を高めてまいりました。

当第3四半期の営業状況は次のとおりであります。

(1) 売上高

当社グループの当第3四半期の売上高は2,059百万円（前年同期比142.2%増）、第3四半期累計で5,549百万円（前年同期比54.9%増）となりました。各事業別の業績状況は以下のとおりであります。

プリンシパルインベストメント事業

不動産及び不動産関連資産に対し、自己の判断に基づき投資を行っております。

当第3四半期は、物件取得が進んだことにより賃料収入は増加しておりますが、保有物件の売却が前年同四半期に比べ減少したため、売上高は447百万円（前年同期比12.4%減）となりました。第3四半期累計では、物件の売却件数・金額とも増加しているため、3,087百万円（前年同期比79.3%増）となりました。

ファンド事業

不動産ファンド等から委託を受け、収益最大化のための定期的な運用と戦略の検討・実施などを行うアセットマネジメント、建物管理業務等を行うプロパティマネジメント及びアセットマネジメント業務を受託している不動産ファンド等への投資を行っております。

当第3四半期は、新規ファンドの組成によるファンドへの物件の移管が発生したこと等により、売上高は1,460百万円（前年同期比834.7%増）と大幅に増加いたしました。第3四半期累計では、アセットマネジメント業務の受託残高が順調に増加したため、1,897百万円（前年同期比39.7%増）となりました。

デューデリジェンス事業

デューデリジェンス事業におきましては、不動産を科学的・合理的に捉えるという基本方針のもとに独自のノウハウを集約し、顧客の目的に応じて様々な角度からのアプローチにより不動産・債権の価値評価及び売却戦略の考案を行っております。

当第3四半期は不動産及び不良債権の流動化の加速により、従来よりの顧客のみならず、新規顧客からの受注件数が増加した結果、売上高は126百万円（前年同期比25.4%増）、第3四半期累計で357百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

ソリューション事業

不動産仲介サービスを中心に、個別の投資家に対しての不動産の取得や売却に関するアドバイスをを行う不動産アドバイザリー業務、また、企業価値最大化の観点から不動産戦略や経営・財務戦略等をアドバイスする企業コンサルティング業務を行っております。

当第3四半期は不動産アドバイザリー業務における不動産の売買仲介件数等が前年同四半期に比べ減少したため、売上高は25百万円（前年同期比69.5%減）となりました。第3四半期累計では、企業コンサルティング業務において企業の資産状況の見直し、事業の再編などのニーズの高まりとともに案件数が増加したため206百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

(2) 営業費用

売上原価・売上総利益

売上原価は、当第3四半期に1,479百万円（前年同期比231.2%増）、第3四半期累計では3,671百万円（前年同期比78.0%増）を計上いたしました。主な項目はプリンシパルインベストメント事業及びファンド事業での保有不動産の売却に関わる仕入原価であります。

売上総利益は、当第3四半期に579百万円（前年同期比43.6%増）、第3四半期累計では1,878百万円（前年同期比23.5%増）を計上いたしました。第3四半期累計での売上総利益率は33.8%となっております。

販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、当第3四半期に340百万円（前年同期比17.6%増）、第3四半期累計では956百万円（前年同期比17.4%増）を計上いたしました。主な項目は人件費の他、地代家賃、広告宣伝費などがあります。

販売費及び一般管理費に占める人件費の比率は、第3四半期累計で61.0%となりました。また、売上高販管費比率は17.2%であります。

(3) 営業利益・経常利益

営業利益

営業利益は、当第3四半期238百万円（前年同期比109.7%増）、第3四半期累計で921百万円（前年同期比30.5%増）となりました。売上高営業利益率は、第3四半期累計で16.6%となっております。

経常利益

経常利益は、当第3四半期181百万円（前年同期比68.5%増）、第3四半期累計で780百万円（前年同期比23.5%増）となりました。売上高経常利益率は、第3四半期累計で14.1%となっております。

3. 通期の見通し

第3四半期までの業績の進捗を踏まえ、平成15年1月29日の中間決算発表時に公表した平成15年5月期（平成14年6月1日～平成15年5月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

連結通期業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回予想（A）	5,400	1,200	700
今回予想（B）	7,800	1,200	700
増減額（B - A）	2,400	-	-
増減率	44.4%	-	-

個別通期業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回予想（A）	3,000	610	350
今回予想（B）	5,200	780	500
増減額（B - A）	2,200	170	150
増減率	73.3%	27.9%	42.9%

4. その他

事業区分の変更について

従来、投資事業、不動産ソリューション事業、デューデリジェンス事業、アセットマネジメント事業の4区分でありました事業区分を、当連結会計年度から、プリンシパルインベストメント事業、ファンド事業、ソリューション事業、デューデリジェンス事業の4区分に変更いたしました。この変更は、利益管理、リスク管理の観点から、各部門の役割と事業責任を明確に規定した組織へと見直したことに伴い、各事業の状況をより適切に反映した情報を開示するために行ったものであります。

5. 第3四半期連結財務諸表

(1) 第3四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	平成15年5月期 第3四半期末 (平成15年2月28日現在)	前連結会計年度末 (平成14年5月31日現在)	平成14年5月期 第3四半期末 (平成14年2月28日現在)
現金及び預金	2,014	3,365	2,555
売掛金	232	64	136
たな卸資産	9,798	5,949	4,022
その他流動資産	670	215	146
流動資産 合計	12,716	9,594	6,861
有形固定資産 計	73	75	75
無形固定資産 計	14	15	12
投資その他の資産 計	4,520	2,840	1,276
固定資産 合計	4,609	2,932	1,365
繰延資産 合計	7	11	13
資 産 合 計	17,333	12,538	8,240
買掛金	81	56	40
短期借入金	4,395	2,255	1,325
その他流動負債	382	483	397
流動負債 合計	4,858	2,795	1,761
固定負債 合計	6,258	4,054	3,075
負 債 合 計	11,117	6,850	4,837
少 数 株 主 持 分	0	0	0
資本金	-	1,362	1,362
新株式払込金	-	2,220	-
資本準備金	-	1,424	1,424
連結剰余金	-	665	603
その他有価証券評価差額金	-	15	12
資本金	2,472	-	-
資本剰余金	2,534	-	-
利益剰余金	1,153	-	-
その他有価証券評価差額金	55	-	-
資 本 合 計	6,215	5,688	3,402
負債、少数株主持分及び資本合計	17,333	12,538	8,240

(2) 第3四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	平成15年5月期 第3四半期 (自平成14年6月1日 至平成15年2月28日)	平成14年5月期 第3四半期 (自平成13年6月1日 至平成14年2月28日)
売上高	5,549	3,583
売上原価	3,671	2,062
売上総利益	1,878	1,520
販売費及び一般管理費	956	814
営業利益	921	706
営業外収益	45	13
営業外費用	185	87
経常利益	780	632